



スクールリポート

成章高等学校
☎22-0141

学校生活の
一コマを
紹介



創立120周年

新たな時代に向かって

成章高等学校

令和3年、成章高校は創立120周年を迎えます。

成章高校の前身は、旧田原藩の藩校「成章館」です。藩校は文化7(1810)年、現在の田原中部小学校の敷地内の東側部分に創建され、翌年、成章館と名づけられました。その後、明治4(1871)年の廃藩置県で田原藩はなくなり、同時に藩校も廃校となりました。

藩校がつくられた経緯の一つには、享和3(1803)年に、伊能忠敬(実測による日本全図の作成した人)の測量隊が田原藩領を訪れ、その技術力の高さ驚いた藩医の萱生玄順が、学問の重要性を藩主に伝えたことにありました。

そして、明治34(1901)年に、地域の子どもたちに、より高等な学びの場所を提供することを考えた、当時の田原町長山本右太郎の尽力で「田原尋常高等小学校付設成章館」が創立し、成章館が再興されました。この年が創立元年となっています。その後、「田原町立成章館」「田原町立中学成章館」「渥美郡立成章中学校」「愛知県成章中学校」「愛知県立成章高等学校」と校名は変遷しましたが、「成章」の二文字は絶えず続いています。

令和3年度には、いくつかの記念行事が行われます。

まず、4月30日(金)に「オオタザクラ植樹式」を行います。植樹式の木は、岐阜県白川郷にある本覚寺から「オオタザクラ」をいただき、本校中庭に移植します。それを披露し、記念講演と説明プレートの除幕を行う予定です。

オオタザクラは、本校の前身、愛知県成章中学校の卒業生である太田洋愛(本名:太田保)が昭和44(1969)年5月に本覚寺境内で栽培されていた新種の八重桜として発見したもので、発見者にちなみ命名されました。オオタザクラの開花時期はソメイヨシノとは少し違い、4月後半から5月前半です。ゴールデンウィークには満開のオオタザクラをご覧ください。

また、太田洋愛はボタニカルアート(※植物が正確に、かつ美しく描かれた絵画のこと)の第一人者として名を馳せた人物です。10月から11月にかけて、田原市博物館で太田洋愛に関する企画展が行われます。こちらもぜひご覧ください。ちょうどその時期、10月20日(水)には創立120周年記念式典が行われます。その内容は現在検討中です。

この節目の年を機に、新たな時代に向かってはばたく契機となるよう、全校をあげて前進していきます。



●山本右太郎像



●オオタザクラの花



●本覚寺にあるオオタザクラ(移植前)



●本覚寺のオオタザクラ標柱